

～【 何のために勉強するのか 】～

数年前、市内のある中学校で担任をしていた時の話です。私のクラスに品行方正、成績抜群の生徒がいました。学校の定期テストはいつも250点満点の245点～250点でした。このレベルになると分からない問題があってその分のマイナス点ではありません。全問解けはしたものの、いわゆる「凡ミス」によって減点されたものです。

私が授業するときには、その生徒の態度・表情が気になって気になって仕方ありませんでした。

授業をしているとその生徒が少し首をかきあげ、何か言いたげな目で私を見つめるのです。そして何かをさっと教科書に書き込むのです。

授業が終わり、その生徒のところに行き尋ねました。「何か疑問点があったら？」するとその生徒は「はい。正直、先生の説明が少し間違っていたのではないかと、思いました。すみません。」その生徒は謙虚ながらも、鋭く質問してくるのです。

そうしたことが何度かあるものだから、特にわがクラスの授業が一番緊張していました。

ではその生徒、自宅で猛勉強しているかというところと全くそうではありませんでした。「家にいるときはどんなに試験前でも1時間、しかも1冊の問題集を繰り返すだけで、囲碁の勉強・練習ばかりしています。これで大丈夫でしょうか。」と家庭訪問の時にお母さんがほとんど困ったという表情で仰っていました。彼は信じられないほどの集中力を持っていたのでしょ。先生の話、教科書の内容をその時間の50分間で徹底的に理解しようとそれのみを考え、周りの生徒がざわつこうが騒ごうが、全く気にならない様子でした。

「何でそんなに信じられないほどの集中力が続くの？」と聞いたとき、彼は照れながら「家じゃ囲碁をしたいので。勉強とかあまり時間をつぶしたくありませんからね。」と言いました。彼の囲碁は全国大会で準優勝するほどの腕前でした。

中学卒業後、彼は県内有数の進学校に入学しました。そして3年間上位で過ごしたようです。それから3年後、現役で国内最高峰の大学に合格しました。

それから数年たち、その中学校のOB会が開催され、元担任ということで招待されました。久しぶりに会う生徒たちは見違えるほど立派になってい



ました。その生徒も級友たちと談笑していました。私も立派になった彼との数年ぶりの再会を喜び、一通り思い出話が終わると「で、今何しているの？ 官僚？それとも研究者？」と尋ねました。

すると意外な答えが返ってきました。「いやー、いろいろ考えたのですが、今、劇団に入り演劇を頑張っています。とても毎日が充実して、幸せです。」と笑顔で答えてくれました。「有名大学＝官僚、研究者」と思っていた自分を恥じました。同時に、自分に正直に生きている彼の生き方を心の底から尊敬し、応援したいと思いました。

さて生徒の皆さん、この話から、勉強するとどんないいことが待っているか分かりますか？進学校や大学に行ける、ということではありません。

勉強すればするほど将来の選択肢が広がる。換言すれば、勉強すればするほど将来、自分に正直に、自由な生き方ができるようになる、ということです。

昔の人は「若い時の苦労は買ってでもせよ。」と仰いましたが、本当にその通りだと思います。中学生の今、楽しさ、気楽さを第一に考え、本来やるべき勉強を後回しにするか、将来、自分の好きな、自由な生き方をするために、今窮屈な思いを我慢し、辛い勉強に立ち向かっていくかは、一人一人の生徒の「生き方」に関わってくる問題です。そろそろ進路選択が迫ってきている3年生の皆さんはしっかり考えてみてほしいと思います。ご家庭でも子どもさんとの会話のネタにしてください。

27日(木)、3年生は全国学力調査のテストがあります。全国レベルでの自分の位置をはっきり確認し、飛躍へのステップとしてほしいと思います。健闘を祈っています。

～【 教育実習が始まりました 】～

今週から教育実習が始まりました。今年は2名の実習生をお迎えしています。園木さくら先生(2年1組、社会科)、森田悠斗先生(3年1組、理科)です。園木先生は2週間、森田先生は3週間の実習になります。お二人の先生が実習を終えるときに、「鹿南中で実習できてよかった。」



「熊本の子どもたちのために頑張って、いい先生になろう！」等の感想を持ってくれるように、生徒の皆さん、お二人の教育実習生の授業にも全集中状態で参加してほしいと思います。